

# 千葉工業同窓会報

平成29年3月1日

第28号

発行 千葉工業同窓会



## 目次

「千葉工業高等学校創立80周年記念式典・祝賀会」を開催 深山 傳……2	千葉工業の歴史を語る(その老) 景山徳二…12
「創立80周年のお礼と新年を祝う」 鈴木賢二……2	平成28年度に新設された『理数工学科』の出前授業を開始 演題[私の進路と千葉工業について] 藤井 孝…15
『母校80周年記念式典・祝賀会』行われる 金子 衛…3・4	理数工学科の授業科目「産業工学研究」を担当して 大野清伍…15
創立80周年記念「生実校歌(歌詞及び譜面)の ブロンズ製レリーフ」の除幕式 ……………5	平成28年 在校生 関東・全国大会出場の大会成績 ……16
寒川校舎跡記念碑 君待橋公園内に戻る ……………5	電気科3年・斎藤さん 全国大会で最優秀賞 ……………16
平成28年度～29年度本部役員 ……………5	東京創研を設立、東武ワールドスクエアをはじめテーマパークを 手掛けた男 川島和人君(34M)を偲ぶ 宇野昭房…17
レクリエーション委員会活動報告 布施敏雄……6	「あれから70年。そして80歳にして」 鳴村英男…17
ゴルフ、ハイキング、囲碁、麻雀、グランドゴルフ同好会	千葉工業時代の思い出 中村軍治…18
同窓祭実行委員会活動報告 宮崎一雄……6	千葉工業高校この一年 ……………19
同窓会報編集委員会活動報告 若月忠良……6	・入学式 ・東勢高級工業職業学校(台湾)来校
環境整備委員会活動報告 大野繁樹……6	・学校説明会・見学会 ・文化祭(千工祭)
事務局報告 長嶋孝雄……7	・芸術鑑賞会 ・80周年記念式典
千葉工業同窓会 寄付金のお願い ……………7	・総合技術コンクール ・台湾国際交流事業
総務委員会の活動報告 金子 衛……8	・避難訓練 ・課題研究発表会 ・SE科産業工学研究
南総支部 創立40周年 鳥飼光雄……8	・電気工事技能競技全国大会
「東葛支部長」就任にあたって 坂巻 実……9	平成28年度進路状況(全日制) ……………21
千葉市新支部長あいさつ 腕木武男……9	同窓会員の状況 ……………21
外房支部長 就任のご挨拶 深山 潔……9	千葉工業高等学校 創立80周年記念募金 お礼 ……22
京葉支部長 就任のご挨拶 池澤敏夫…10	創立80周年記念事業のご報告 金子 衛…23
地域支部 定期総会予定 ……………10	編集後記 ……………23
地域支部 支部長、連絡先と地域 ……………10	第31回「同窓祭」の様相 ……………24
女子会「レディス・ピオラ」 早邊(高杉)利子…11	第32回「同窓祭」開催のご案内 ……………24
永峯元校長 瑞宝小綬章を受章 受章祝賀会 金子 衛…11	同窓会幹事会の開催 ……………24

# 「千葉工業高等学校創立80周年記念式典・祝賀会」を開催

同窓会長（創立80周年記念事業実行委員長） 深山 傳（38E）



平成25年から準備をしてまいりました「千葉工業高等学校創立80周年記念事業」が、同窓生の皆様のご協力を得て、盛大に実施できましたことをご報告させていただきますと共に協力に厚く御礼申し上げます。

首都圏に54年振りに積もった初雪も解け、この平成28年11月26日（土）は絶好の小春日和の中、千葉工業高等学校創立80周年記念式典・祝賀会を挙げるに当たり、あたかも露払いをしてくれた気持ちになったのは、私一人ではなかったと思います。

さて、伝統ある千葉工業高等学校の記念式典は厳粛な雰囲気の中、ご来賓の千葉県教育庁溝口敏行企画管理部長、千葉市鈴木達也副市長、歴代の校長先生、千葉県高等学校校長協会鈴木政男会長始め千葉市内の県立高等学校校長、周辺の中学校校長、近隣の町会長、PTA、定時制振興会、一般財団法人千工会、同窓生に加え、全校生徒の皆さんと盛大に挙げる事が出来ました。

その後、80周年をお祝いする「祝賀会」を千葉市内の京成ホテル「ミラマーレ」に移し、実行委員長挨拶、来賓の挨拶後、田口教頭先生の「乾杯」が高らかに宣言され、会場は祝福の拍手と歓声に包まれ挙行されました。

歓談途中で南総支部の小林一臣さん（34M）の詩吟「祝賀の詞」が披露、さらに外房支部のハワイアンダンディーズのスチールギターのリードにより軽快な演奏に皆さ

んは酔いしれていたようです。

あつという間の楽しい宴の締めには、少人数でしたが精鋭により「検見川校歌」、ご存知久々田の海に……の「津田沼校歌」を参加者多数で合唱、最後は現役の先生とPTA役員と同窓会の若手により「生実校歌」を格調高く歌い盛況のうちに終了しました。

次に事業の目玉であります、今年から新設されました「理数工学科」に加え、1・2年生の12クラスと来年入学される理数工学科1クラス合計14クラスに、ICT（情報通信技術）機器を導入し、コンソーシアムの拠点校として礎を構築することが出来ました。

また、理数工学科の月一度の土曜授業に大野清伍（28E）、藤井孝（42M）さんの2名の同窓生が「私の進路と千葉工業について」出前授業を実施しました。

更に、80周年記念事業に相応しい千葉工業高等学校の歴史に加え、諸先生方の熱心な指導の下工業高校の目指している「ものづくり」の礎となります研究・技術開発された成果を多くの卒業生から投稿をいただき、充実した「記念誌」を編纂いたしましたので、是非、沢山の方々に読んでいただきたいと思っております。投稿頂きました皆さんにお礼申し上げます。

最後に、千葉工業高等学校創立80周年記念事業に御寄附賜りました先生方、PTA、定時制振興会、関係企業、同窓会の皆様方に厚くお礼を申し上げますと共に、お忙しい中この事業にご協力いただきました皆さんに感謝申し上げます。ご挨拶といたします。

## 「創立80周年のお礼と新年を祝う」

学校長 鈴木 賢二



平成28年11月26日（土）は天候快晴に恵まれ、千葉県立千葉工業高等学校の創立80周年記念式典を挙げる事が出来ました。御協力をいただきました皆様に御礼申し上げます。また、式典会場を体育館に設定した関係上、参加者数に制限を設けざるを得ませんでした。「参加しなかった」との意見をいただいたことに恐縮しております。約3年前に準備委員会（準備委員長：深山同窓会長）が発足し、平成28年4月から実行委員会に移行し、総務部会・記念式典部会・記念祝賀会部会・記念誌編纂部会・記念事業部会の5部会が活動し、大勢の力を結集して式典が遂行されました。記念誌は、式典の終了後に完成予定です。記念誌編纂委員会の皆様、大変ご苦労さまでした。

話は変わりますが、平成29年が始まりました。改めまして、あけましておめでとうございます。改めて言うまでもありませんが、学校では3学期のスタートです。現役の高校生は、進級・卒業に向けてスパ

をする時期です。また、中学3年生は、高校の入学試験の時期です。本校は、平成28年度に理数工学科が新設され、今回で第2回目の入試を実施することになります。今回の入学試験でも多くの中学生が希望してくれることを期待しているところです。

ところで、新年と言えば「初夢」があります。初夢は「一富士、二鷹、三茄子」が良いとされています。これは、徳川家康が駿河に在城の折、「一に高いのは富士山、その次は愛鷹山（あしたかやま）、次は値の高い初茄子である」と言ったとの説がある。ここまでは知っている人が多いと思いますが、その続きがあり「四扇（おうぎ）、五煙草（たばこ）、六座頭（ざとう）」と続くのです。扇は末広がりで、煙草は煙が立ち上る、座頭は髪を剃った盲人で「怪我ない」に通じるため、縁起がよいとされている。新年の初夢に期待し、千葉工業高校と同窓会の会員の皆様に「幸」多きことを願うものです。

結びに、千葉工業高校同窓会のますますの発展をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

# 厳肅なる雰囲気のもと 『母校80周年記念式典』行われる

金子 衛 (38M)



二日前に降った雪も解け、平成28年11月26日(土)は絶好の小春日和。この日、母校80周年の『記念式典』、及び『記念祝賀会』が挙行された。

ここに厳肅なる雰囲気のもとで執り行われた『記念式典』と、賑わい豊かで出席者全員で祝い合った『祝賀会』の様相を報告する。

## 【記念祝典】 9:30～10:40 母校体育館

全日制、定時制の生徒全員が着席し母校体育館に、紅白の幕をくぐって我々来賓一同(同窓会本部・支部役員、PTA役員、近隣中・高校関係者他)が着席。

壇上の下手には深山傳80周年記念事業実行委員長(同窓会長)、同副委員長の鈴木賢二校長、永峯清秀実行委員会顧問(第14代校長)、PTA会長他、上手には段木正視顧問(第10代校長)と県・市他からの来賓、更に4名の歴代校長と小池忠良千工会理事長が着席されていた。

定刻9:30、「開会の辞」により式典が開幕。堂々と入場し校旗を壇上に掲げ、正面の国旗を仰ぎ見ながらの国歌斉唱で厳かに開会した。

### ○学校長式辞 : 鈴木 賢二校長

「卒業生23,126人を輩出した重い歴史と、県下初の理数工学科新設の紹介、及び記念事業としてのICT活用教育推進支援他などへの謝意」

### ○80周年記念事業実行委員長挨拶 : 深山 傳実行委員長

「平成25年から実施してきた実行委員会活動協力への謝意と、80周年記念誌の立派な完成見込みの報告」

### ○来賓祝辞

・千葉県教育委員会 溝口敏行企画管理部長 ・千葉市 鈴木達也副市長 ・千葉県高等学校長協会 鈴木政男会長(県立千葉高等学校長)

### ○感謝状贈呈

・千葉県教育委員会教育長から深山傳実行委員長へ  
・鈴木校長から歴代校長、千工会理事長へ

### ○受影者代表挨拶 : 第18代 関谷 守校長

### ○生徒代表挨拶 : 中西 光樹生徒会長

### ○校歌斉唱

### ○閉会の辞

## 【記念講演】 11:20～12:35

記念式典に続き「千葉工業と共に」と題し、第10代校長 段木 正視先生による記念講演が行われた。段木先生は昭和20年、本校応用化学科を卒業された大先輩(現在89歳)である。昭和57年4月に校長として千葉工に着任し、「創立50周年」の記念事業を実施。昭和63年に定年退職した。その後千葉工同窓会の顧問として現在まで千葉工と共に歩んでいる。千葉工の校訓は「自主責任」「勤労愛好」「信義礼讓」であるが、この言葉一つ一つに対し具体的事例を交えながら、生徒に語りかけられた。

先生はこの講演中、原稿は全く見ず、75分間立ちっぱなし。予定の12:35ピッタリに終るという見事な講演。最後に花束を渡され、かくしゃくとした足取りで壇上を去られた。



【記念発表会】 14:00～15:00

○吹奏楽部による記念コンサート

「千工マーチ」の演奏で始まり、アンコールを含め全7曲を演奏。

○全日制・定時制生徒による近隣の小学校と保育園での「出前授業」の報告

○理数工学科生徒による研究発表

## 盛大に 賑わい豊かに『母校80周年記念祝賀会』が行われる

【記念祝賀会】 17:00～19:00

京成ホテル「ミラマーレ」6階ローズルーム



会場を京成千葉中央駅の京成ホテル「ミラマーレ」に移し、会費制による記念祝賀会が盛大に賑わい豊かに開催された。

定刻の17:00に南総支部の鳥飼光雄(42M)、白井正男(40M)両氏の司会で開宴、深山実行委員長、柳下善之PTA会長、鈴木学校長、小池理事長の挨拶と続いたが、どなたも乾杯が待ち遠しい我々参列者の気持ちを察し、簡単明瞭な挨拶で、10分後には田口教頭の発声による「乾杯」が高らかに宣言された。

鈴木校長の挨拶の中で電気科3年の齊藤平也(としや)

君が、11月25日に両国国技館で行われた電気工事士技能競技全国大会に関東代表として出場し、見事に最優秀賞に輝き、文部科学大臣賞を受賞された旨の報告があり、会場は祝福の拍手と歓声に包まれた。

祝賀会場は150名の出席でかなりの混雑だったが、16個の丸テーブルで、座席が指定されたブッフェ形式で、参加者にはとても有難い設定になっていた。同窓会では遠く浜松市からの参加者を初め、約100人が集った。PTAからも15名の父母が会場を華やかにしてくれていた。

あるPTAの役員さんが、「千葉工に息子を入れたが、県下に支部が網羅されたこんなに凄い高校とは知らなかった。この同窓生になれたことがとても誇らしい」との感想を述べられていた。

歓談の途中で南総支部の小林一臣氏(34M)の詩吟、「祝賀の詞」が披露された。これは七言律詩で纏められた漢詩を堂々と、朗々と吟じて頂いた。

続いて外房支部有志で結成された「外房ハワイアンダンディーズ」のハワイアン演奏。軽快なウクレレとギターの調べは相変わらず一級品だった。

宴もたけなわとなった16:40からは校歌斉唱。最初は少人数ではあるものの、精鋭が集まった「検見川校歌」。“見よ北総の輝きを”を熱唱した。続いて会場の大多数が登場して「津田沼校歌」。ご存知“紅燃ゆる久々田

の海に…”を声を限りに歌った。最後は現役職員とPTA役員、及び同窓生の若手が主体になり「生実校歌」を格調高く歌い上げた。

最後は万歳三唱で宴を締めることになるが、この大役は永峯顧問の命により不肖・金子衛が、小笠原流の万歳三唱の音頭をとることになった。声高らかに「千葉県立千葉工業高等学校 創立80周年バンザーイ」を三唱し、無事に宴を閉じることができた。

長期間にわたり「記念式典」「記念祝賀会」を計画し、実施頂いた関係各位に深甚の敬意を表したい。

最後にこの稿を締めるにあたり、筆者の拙い俳句をご披露し結びとさせていただきます。

『凜として 母校は傘寿 菊日和』 まもる

## 創立80周年記念「生実校歌(歌詞及び譜面)のブロンズ製レリーフ」の除幕式 千葉工業同窓会ホームページより



昨年11月22日(火)午後1時から、創立80周年記念「生実校歌(歌詞及び譜面)のブロンズ製レリーフ」の除幕

式が行われました。

挨拶に立った創立80周年記念事業実行委員長(深山同窓会長)は、「早朝の福島県沖地震に見舞われ、津波による被害が心配されました。きょうは好天に恵まれ、しかも友引の吉日に除幕式が執り行われることになり、うれしく思います」と挨拶があり、続いて鈴木校長から創立80周年記念として『生実校歌』のレリーフが設置されました。これで3つの校歌が壁面にそろうことになり、ありがたく思います」と謝辞が述べられました。

この後、実行委員長、校長、全日制・定時制の教頭及び生徒会長の手により幕が落とされ、ピカピカの銅板に刻まれたレリーフが現れると、一同大きな拍手でこれを祝いました。

## 寒川校舎跡記念碑 君待橋公園内に戻る 千葉工業同窓会ホームページより

平成26年10月から、君待橋公園内にある寒川校舎跡記念碑が公園下の貯水槽工事のため撤去されていましたが、このほど工事が終了し、記念碑周辺もきれいに整備され、復旧しました。



### ●平成28年度～29年度本部役員

役職名	氏名		
顧問	段木 正視 (20C)	高橋 正己 (32C)	
会長	深山 傳 (38E)		
副会長	若月 忠良 (37M)	金子 衛 (38M)	宮崎 一雄 (42C)
	藤井 孝 (42M)	布施 敏雄 (41E)	富田 博 (44M)
事務局長	長嶋 孝雄 (42E)		
事務局次長	中村 啓介 (60E)		
会計	松浦 悟 (53E)		
会計監査	宇野 昭房 (34M)	高石 進 (35M)	斎藤 公彦 (37C)
環境整備委員長	大野 繁樹 (36M)		
レディス・ピオラ	古川千枝子 (38C)		

## レクリエーション委員会 活動報告

レクリエーション委員長 布施 敏雄(41E)

平成28年度のレクリエーション活動は春のウォーキングに始まり、秋のハイキングで無事に幕を閉じました。各々の活動実施を記しましたので、ご一読ください。

なお千葉工業同窓会本部ホームページに本部関係の行事日程(予定・変更・中止)等を掲載しておりますので、ご覧ください。

### ○ゴルフ同好会 活動報告

平成28年度より本部主催にて春、秋2回開催になりました。

#### ●平成28年度本部春季(徳永記念)親睦ゴルフ大会

5月17日(火)房総カントリー・大上ゴルフ場  
雨天の中で会員33名で実施。

※平成29年度春季大会 5月16日(火)同ゴルフ場

#### ●平成28年度本部秋季ゴルフ大会

10月18日(火)真名カントリークラブゲラリー・プレーヤーコース 晴天の中で会員38名で実施。

※平成29年度秋季大会 10月17日(火)同ゴルフ場  
ゴルフ同好会事務局 市川 新一(38M)  
携帯090-3108-7071

### ○ハイキング同好会 活動報告

春の第29回ハイキングが4月2日(土)『新選組のふるさと日野』と『高幡不動尊』を訪ねるコースを17名にてウォーキングを実施しました。

秋の第30回ハイキングは12月3日(土)晴天のもと貸切観光バスを利用して、千葉県君津市の『亀山ダム湖周辺の紅葉と三石山』を24名にてハイキングを実施しました。

(29年予定)

春の予定 4月1日(土)築地・月島周辺散策

秋の予定 11月予定/場所未定

ハイキング同好会事務局 腕木 武男(38E)  
携帯080-1327-5713

### ○囲碁同好会 活動報告

今年度も例年通り4回の大会を開催、29年1月24日(火)の大会で完了しました。

H28/4/26(火)	H28/7/6(火)在校生交流会
H28/10/25(火)	H29/1/24(火)

(29年予定)

H29/4/25(火)	H29/7/25(火)
H29/10/24(火)	H30/1/23(火)

囲碁同好会事務局 高橋 健一(29C)  
TEL04-7159-9367

### ○麻雀同好会 活動報告

第20回本部主催麻雀大会が平成28年9月25日(日)千葉市中央区の『マーチャオシグマ千葉店』において会員24名にて実施しました。

(29年予定) H29/10/1(日)同麻雀店

麻雀同好会事務局 布施 敏雄(41E)  
携帯090-1468-2238

### ○グラウンドゴルフ同好会 活動報告

第5回本部主催グラウンドゴルフ大会が平成28年9月17日(土)晴天の中で千葉市若葉区の『高品運動広場』において21名にて実施しました。

(29年予定) H29/9/9予定同高品運動広場

グラウンドゴルフ同好会事務局 藤井 孝(42M)  
携帯090-4221-6576

## 同窓祭実行委員会 活動報告

同窓祭実行委員長 宮崎 一雄(42C)

平成28年6月26日(日)に「第31回同窓祭」がJFEみやぎ倶楽部にて開催されました。

金子副会長の音頭による乾杯後、喜寿となられる方に会長から誕生日の新聞のコピーと記念品の贈呈がなされました。また、催物として恒例の吹奏楽部OB・OG会による演奏や一般財団法人千工会・小池理事長の詩吟、外房ハワイアンダンディーズの皆さんによる演奏、千葉市支部・島村氏による「どじょうすくい」等が披露されました。

恒例の検見川、津田沼、生実の校歌斉唱で大変盛り上がり、学ぶ地は異なっても千工同窓生としての一体感を感じた同窓祭も無事終了しました。

【活動状況】

- ・平成28年2月26日 第31回同窓祭実行委員会
- ・平成28年6月26日 第31回同窓祭開催
- ・平成28年7月26日 結果報告を兼ね反省会
- ・平成29年2月24日 第32回実行委員会開催

## 同窓会報編集委員会 活動報告

同窓会報編集委員長 若月 忠良(37M)

母校創立80周年記念事業の記事を掲載するために臨時編集委員会を12月に実施した。

同窓会報第27号 反省会 7月29日

第28号 第1回編集委員会 9月3日

第28号 第2回編集委員会 10月29日

第28号 臨時編集委員会 12月12日

第28号 第3回編集委員会 1月14日

## 環境整備委員会 活動報告

環境整備委員長 大野 繁樹(36M)

28年度も学校主体で6月と2月の2回、花の植え替えを予定しました。6月は雨模様で実施できず学校、PTA関係で行って貰いました。2月は美化委員、PTA、先生、卒業生に声掛けをして実施しました。ありがとうございました。

平成28年度は、千葉工業高校創立80周年記念式典・記念講演会（段木正視氏 20C）・記念祝賀会・記念事業が行われました。

母校部活動（関東大会・全国大会出場）への助成。同窓会報（母校創立80周年特別号）の発行。文化祭（千工祭）に出展。第31回同窓祭や委員会、支部総会など会員の親睦活動。皆様の参加をお待ちしています。（千工会助成金100万円は母校創立80周年記念募金に伴う同窓会寄付金休止、会報発行費補てん金）

## 平成28年度の主な活動を紹介します。

- 平成28年 4月 3日 外房支部総会  
 7日 入学式  
 17日 千葉市支部総会  
 5月 8日 京葉支部総会  
 12日 常任幹事会  
 15日 市原市支部総会  
 28日 総会  
 6月 4日 北総支部総会  
 12日 東葛支部総会  
 26日 第31回同窓祭  
 7月26日 支部長連絡会議  
 9月29日 支部長連絡会議  
 10月 1日 南総支部 創立40周年祝賀会  
 29日 千工祭  
 11月26日 母校創立80周年記念式典・祝賀会  
 平成29年 2月18日 同窓会・学校・（一財）千工会 連絡会議  
 24日 支部長連絡会議  
 3月 7日 同窓会入会式  
 8日 卒業式  
 12日 南総支部総会

## 平成28年度 同窓会予算

### 収入の部 (単位:円)

科目	予算額
繰越金	2,798,896
同窓会入会金	1,330,000
千工会助成金	3,000,000
	1,000,000
同窓祭費	650,000
雑収入	0
合計	8,778,896

### 支出の部 (単位:円)

科目	予算額
文化費	200,000
会議費	250,000
旅費	320,000
通信費	20,000
同窓祭費	800,000
支部助成費	747,000
レク活動費	100,000
環境整備支援費	30,000
事務費	80,000
会報発行費	2,600,000
渉外費	500,000
予備費	3,131,896
合計	8,778,896

## 千葉工業同窓会 寄付金のお願い

平成27・28年度は母校80周年記念募金のため、千葉工業同窓会寄付金は休止しました。記念募金は目標額300万円(2年間)に対し、420万円余のご寄付を頂き80周年記念事業を盛大に催すことができました。厚く御礼申し上げます。

同窓会の運営は、卒業生の同窓会入会金と（一財）千工会の助成金が主な収入源となっています。

平成29年度からは寄付金を再開し、同窓生の皆様方により寄付金を募りますのでよろしくご協力のほどお願いします。

### ◆寄付金の応募方法

- ①寄付金は、1口1,000円です。応募口は制限はありませんので、ぜひ多くのご協力をお願いします。
- ②寄付金は原則として、同封のゆうちょ銀行の払込取扱票により振り込んでください。
- ③寄付金者名簿は同窓会報 29号に掲載します。
- ④匿名希望の方は○印をお願いします。

### ◆平成29年度寄付金の目標

平成29年度は、100万円の寄付金を目標にしています。平成26年度は64万7千円でした。



## 総務委員会の活動報告

総務委員長 金子 衛 (38M)

昨年度から2年間の同窓会本部の活動主体は、母校の「80周年記念事業」遂行のための諸方策の実施でありました。年3回実施した「支部長連絡会議」の場でも、各支部長さんの絶大なるご協力を頂き、80周年の成功に向けた活動を続けて参りました。

お蔭をもちまして、母校への支援として実施いたしました「記念事業」におきましては、ICT(情報通信技術)教育のための機器の導入等が実現できました。又、「記念式典」「記念祝賀会」も厳粛で格調高い雰囲気の中、大変有意義な場となりました(詳細は別掲)。記念誌『八十年』も当初の計画を上回る立派な内容のものが完成いたしました。

これらの“成果”が得られた源泉は、何と申しましても十分な資金の確保でありました。同窓生に“熱き心”としてお願いした募金につきましては、予算(300万円)を大きく上回る420万円超のご寄付をいただきました。誠に有難く、感謝の言葉しかありません。又、(一財)千工会からも当初計画の2倍近い拠出金を頂戴することができ、誠にありがとうございました。

80周年関連以外の活動としましては、昨年度から卒業生の「同窓会入会式」を企画し、昨年3月7日(卒業式の前日)に本部役員と各支部長出席のもと、実施いたしました。

(今年度も3月7日に実施予定)



この式典では銘々の「同窓会会員証」(名刺サイズでパウチ加工したもの)を作成し、卒業生全員に交付いたしました。これをきっかけに今後の同窓会活動、及び支部活動に関心を持ってもらえることを願っております。

もう1点。現役生徒の部活の成果(県大会以上の大会参加)への支援として、同窓会役員から大会参加者に直接祝い金を交付することにいたしました。

各大会参加者から決意や意気込みを聞かせて貰い、我々同窓会からは大会での心構え等をアドバイスすることで、現役生徒と同窓会との繋がりを深めることに寄与できていると実感しています。

最後に「80周年記念事業」への皆様のご協力に対し、重ねて御礼申し上げます。



## 南総支部 創立40周年

南総支部長 鳥飼 光雄 (42M)



平成28年10月1日(土)、南総支部創立40周年記念式典及び記念祝賀会を開催しました。

南総支部は、昭和51年(1976年)3月7日に発足、一步一步歴史を積み重ねながら40年という節目の年を迎えました。当日は、歴代校長先生はじめ、同窓会本部、(一財)千工会、各地域支部からのご来賓も含め、70余名という多くのご参加を頂き、懐旧の想いと、次の50周年に向けたエールが交錯する中、盛会裡に挙行することが出来ました。

40周年記念事業にあたっては、長谷川さん(39M)を実行委員長に、実行委員会で種々検討を進めてきたものです。

が、最も苦勞した記念品の選定(手拭い、クオカード)も、概ね好評を得ており、少し胸を撫で下ろしています。

また、記念講演は、南総支部の特別会員でもある、母校第20代校長松本 透先生に、「私にとっての千葉工業」と題し、教師として、校長として見てきた千葉工業の今昔を語って頂きました(ありがとうございました)。

祝賀会では、ご自身で作られた「赤備え」の甲冑姿による小林 一巨さん(34M)の詩吟や、和太鼓演奏奏者・鈴木淳一さんの太鼓演奏に、何度もアンコールの声がかかっていました。

また、出席者最高齢の小関さん(17C)と、最年少の高田さん(H21E)による挨拶も、正に同窓会ならではの感を深めました。

最後になりましたが、今回の40周年記念事業の名誉実行委員長として、誰よりも10月1日を楽しみにしておられた沢辺終身顧問が、直前の9月8日にご逝去されました。ご冥福をお祈りしますとともに、沢辺さんが常々語っておられた「南総の伝統」を承継しながら、更なる発展に向け頑張っていきたいと思っております。





## 「東葛支部長」就任にあたって

坂巻 実 (34M)



この度、千工同窓会東葛支部3代目支部長を引き継ぎました坂巻 実です。

「光陰矢のごとし」と申します。東葛支部が誕生したのは、故安藤信吉同窓会会長の元で、17年前の1999年(平成11年)6月20日、9番目の支部として発足しました。(現在は7支部です)設立時の会員が17名、現在設立時から

残っている会員は6名です。

その2年後、定年を迎えて家でぶらぶらしておりました。そんな折、初代支部長の立崎 作次氏(26C)から電話があり、1時間ほど電話口で話し、強く会員になる事を進められ、しぶしぶ受諾した記憶があります。

同窓会支部として、一番遅く発足した支部です。少年期から青年期へと発展させ得る支部?です。

支部会員の生い立ちの特徴として、学生時代は県内の親元から通学し、卒業後は親元から巣立ち、東京及びその近隣の企業へ就職し、家庭を持ち県外の地に定住を決めた卒業生が多いことです。他支部のように、兄弟姉妹や親を知っているとかの地域性が強い環境に無いという事です。ど

うしても会員の勧誘は、同期生又は知人を通しての紹介に頼らざるを得ません。総会時に「東葛支部は役員しか出席しない支部か…」とお叱りを受けた事が多々あります。

これからの目標として、「増やそう つながろう 東葛支部」をモットーに「会員増」の努力をしたいと思っております。

具体的には、

①他支部から県外に居住している卒業生を紹介してもらう。

②会員の同期生及び、知人からの情報を得て勧誘する。これからも、諸先輩ならびに会員の協力を仰ぎ、健康で、笑顔の東葛支部を目指して「中庸の精神」で運営していきたいと考えております。

五十音の「か」行の言葉を通して新任の挨拶と致します。

「か」は、何事にも(感動)する事。

「き」は、何事にも(興味)を持つ事。

「く」は、何事も(工夫)して行う事。

「け」は、いつも(健康)に注意する事。「飲みすぎず、食べ過ぎず」。

「こ」は、恋をする事。

## 千葉市新支部長あいさつ

腕木 武男 (38E)



同窓生の皆様こんにちは、私は昭和38年3月電気科を可も無く不可も無く卒業しました腕木武男と申します。

この度、平成28年4月に行われました第3回千葉市支部定期総会において、新生千葉市支部初代支部長吉田様の後を引き継ぎ、2代目支部長を拝命致しました。ところで、私にと

って決して大袈裟な話ではありません。「晴天の霹靂」とでも言いましょか、大任を担うことになり身の引き締まる思いでこの先が心配でした。しかしながら、支部会員の皆様方の豊富な英知とご指導・ご協力を得まして活動もスムーズに行っているところです。先ずはひと安心です。今後も皆様方のご指導・ご鞭撻そして何よりのご協力をお願いする次第です。

千葉工業同窓会には7つの支部がありますが、各支部の地域性を生かして活動に取り組んでいるとは思いますが、共通の課題で且つ難問でもあります支部会員の高齢

化による退会と、そして中堅の卒業生が入会しない事情が重なり、千葉市支部もご多分に漏れず支部会員減少の一途を辿っています。その点につきましては各支部間で情報交換を通して地道な勧誘活動で、一步一步会員の増強に取り組んでいきたいと考えています。それには支部活動の活性化で目玉商品ではないけれど老若男女が参加でき楽しめるレクリエーション等を企画し、会員相互のコミュニケーションを深め魅力ある支部を模索して行きたいと思っております。

また私の好きな旅歩きや山登りを同窓会本部のハイキング同好会を通して、より一層の発展をさせたいと考え、その為にも毎日のウォーキングを欠かさず千葉市支部のモットーであります「元気で楽しく長生きしよう」を合い言葉に健康第一で頑張っています。

卒業生の皆様方、同窓会支部活動にご興味を持てる方、今お住みになっています支部へご連絡下されば喜んで対応致します。同窓会の仲間はとても良い先輩と後輩が大勢います。ご一報をお待ちしています。

## 外房支部長 就任のご挨拶

深山 潔 (36E)



去る平成28年4月3日の外房支部第23回定期総会に於いて支部長に選出されました深山 潔と申します。

浅学非才の身ではありますが諸先輩の跡を継ぎ、今までお世話になったご恩返しをして参りますのでよろしくお願ひします。

外房支部は、特定の役員に負荷が集中しない様、分担することを伝統とし

ていますので、職業生活が未だ現役の私としては大いに助かっています。

他の支部総会への派遣者の選出に当たっても原則一人一回としています。

行事の企画、運営では「楽しい同窓会」を目指しています。会員数は72名です。70歳から80歳の人が69%、69歳以下の人が17%を占めています。

若い人の入会を推進する事が、今後の課題と思っております。関係各位のご支援、ご協力を宜しくお願ひします。

# 京葉支部長 就任のご挨拶

池澤 敏夫 (32C)



卒業年度を見てお気付きの通り、男性の平均寿命にまもなく到達しようという者が、なんで今頃！と思われた方も多いことでしょう。

正直に申し上げますと、どうせやるなら5～6年前の役員改選時に打診を受けた際、お引き受けしておくべきだった！と後悔しています。

何故か？60年も昔のこととはいえ、机を並べて過ごした“同期の桜”南総支部の宮内 潔・佐川 一両君が、本部役員として苦悩していた時期に――。

その後、会長職を引き継いだ外房支部の高橋 正巳君(現顧問)には、ラブレターの代筆まで頼んだ“甘酸っぱい”思い出等々、共に活動の輪に加わってれば、

少しは恩返しが出来たろうに――と、年甲斐もなく悔やんでいます。

現に本部の役員は、会長以下すっかり若返り、全国でも稀であろう“千工同窓会”の伝統を引き継ぎ、教育環境の充実・向上に寄与する等、貴重な組織を真摯に動かす姿に接し感服しています。

例え、学んだ時代は違っていても、同じ学校で思春期を過ごしたという不思議な因縁は、見知らぬ者同士を、妙に身近な存在として、結びつけてしまう魔力を秘めているようですネ！

誠に風変わりで、軌道を逸した“就任挨拶”となりましたが、紙面の都合上、肝心の抱負やら今更引き受けざるを得なかった経緯については、京葉支部「けいよう」第17号に執筆しますので御笑談を願うこととして、お見知り置きをお願い致します。

## 地域支部 定期総会予定

支部名	日 時	場 所
南総支部	3月12日(日) 14時	君津市：ホテル千成
外房支部	4月 2日(日) 13時30分	東金市：八鶴亭
千葉市支部	4月16日(日) 14時	千葉市：ホテルプラザ菜の花
京葉支部	5月 7日(日) 14時	船橋市：割烹旅館 玉川
市原市支部	5月14日(日) 14時	市原市：五井グランドホテル
北総支部	6月 4日(日) 13時	成田市：鰻福亭(まんぶくてい)
東葛支部	6月11日(日) 13時	我孫子市：鈴木屋本店
レディス・ピオラ	4月 8日(土) 12時	船橋市：割烹旅館 玉川

※開催場所・日時は変更がある場合があります。各支部、同窓会本部ホームページで確認ください。

## 地域支部 支部長、連絡先と地域

支部名	支部長	電話番号	地 域
南総支部	烏飼 光雄(42M)	0438-41-1864	館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町、富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市
外房支部	深山 潔(36E)	0475-23-2058	勝浦市、御宿町、大多喜町、いすみ市、睦沢町、一宮町、長南町、長生村、白子町、茂原市、長柄町、大網白里市、九十九里町、東金市、山武市、芝山町、横芝光町
千葉市支部	腕木 武男(38E)	0436-63-7724	千葉市
京葉支部	池澤 敏夫(32C)	047-466-6993	船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市、八千代市
市原市支部	石川 尋志(49C)	0436-21-6093	市原市
北総支部	大野 清伍(28E)	0476-98-3145	四街道市、八街市、佐倉市、酒々井町、富里市、白井市、印西市、栄町、成田市、神崎町、多古町、香取市、東庄町、匝瑳市、旭市、鏡子市
東葛支部	坂巻 実(34M)	04-7191-5927	浦安市、市川市、松戸市、柏市、我孫子市、流山市、野田市、県外
レディス・ピオラ	古川千枝子(38C)	080-1213-1297	女子限定



# 千葉工業の歴史を語る(その壱)



第5代学校長 景山 徳二 先生

(文章の中で私とあるのは景山先生ご自身である)

## ○千葉工業との出会い

昭和14(1939)年3月、千葉工業学校が県立に移管するときに、当時の北村校長のお世話でまだ頭の毛もふさふさしていた青年教師の私が、県立佐倉高等女学校から数学の教師として赴任して来た。

その頃は県下唯一の工業学校で、本千葉近くの都川のほとり、千葉商業学校が転出したあとのバラックの古い校舎を使用していた。前年(1938年)、理科実験中の事故で校舎を一部消失した関係で、近くの高等小学校の校舎の一部を借用していた。

県立移管と同時に今での応用化学科のほかに機械科、電気科が増え、工業学校としての体系ができ、規模も大きくなったので、職員、生徒の数も倍増された。

校舎も検見川町の北方、花園台地に校地1万1千坪(36,300㎡)と、校舎は2階建て本館、応用化学実験場の建設に取りかかっていた。

教師も北村校長を中心に平野敏蔵、荒木友之助、高木八次、渡辺定方、川名部秀雄、亀井澄、島田正、高梨義雄、市原初雄、大岩徳、鶴岡善衛、櫛田竜夫、野末菊雄 等、将来大学の教授になったり、高校長になった優秀な各先生が揃っており、また生徒も家族的な雰囲気の中でよく勉強した。

工業学校教育に対する地域社会の期待も大きく、西川測吉、大沢中 両市議会議員も後援会の中心となって熱心に面倒をみてくれた。

御真影(昭和天皇・皇后両陛下のお写真)が下賜されたのもこの頃で、本千葉駅から都川の学校まで整列してお迎えしたことを覚えている。

## ○検見川校舎草創期の思い出

検見川台に全校移転したのは昭和14(1939)年9月である。現在は花園中学校と花園小学校とになっているが、当時は全くの畑の中の唯一の建物で、南に無線の塔(現在は撤去されて残っていない)がそびえ、西に小さな変電所と八坂神社(現在は検見川神社となっている)の森が見えるだけで、交通の便も悪く、先生も生徒も省線電車(現在のJR)幕張駅から京成検見川駅から芋畑、西瓜



▲昭和14年4月 県立に移管され、校舎も千葉市検見川台(現花園中、花園小のところに)に建設された。周囲は民家が一つもない畑の中であった。従来の化学科に、機械科と電気科が増設され生徒、職員も大幅に拡充された。



検見川校舎時代校歌

千葉県立千葉工業学校校歌

作詞 大木 輝夫  
作曲 橋本 留博

一、 見よ北総の輝きを  
 検見川台に地を占めて  
 工の業の旗を掲げし  
 翳すわれらの学舎これぞ

二、 袖肝々浦の潮風に  
 心も身をも鍛へては  
 工の道に誇り立ち  
 固に頼み人健児よわれら

三、 世紀の激戦う時  
 我等の使命いや重く  
 生命の火花ちらしなん  
 若き工の戦士よわれら

四、 見よダイナモは胸にあり  
 振る魂のハンマアを  
 無線の塔を高空に  
 仰ぐ希望の光よわれら

畑の中を歩いて通学。農家の人々を困らせた思い出のある卒業生も多いと思う。

畑の中にぽつんと建った学校であり水道設備がないため、水道管の施設工事を全校生徒で行った。材料を揃え、勤労奉仕(今で言うボランティア)で行ったが、検見川町から八坂神社の脇を通り、坂道を上がり、変電所の所から東へ関東配電(現在の東京電力)の高圧線の脇道を掘削しての水道施設工事は、放課後を利用しての手作業ということもあって、秋から取りかかり完成したのは12月で、寒中 夜遅くまでの過酷な作業で、生徒の相川君は無理がたたって肺炎を起こして亡くなってしまったことを思い出す。水道管施設工事だけでなく、校地の周囲に土手を作って芝を植えたり、土地をならしてグラウンドを作ったり、建物以外の施設は当時の生徒の作業で造成した。

この頃、花園台地は区画整理中だった。学校の用地は京成電鉄(株)が一括購入した土地の西半分(約1万坪)を千葉市に寄付、千葉市は県に寄付し、残り半分は住宅分



▲検見川を跨ると、オアシス行列・行進し、この八坂神社前で礼拝するのが毎朝の行事だった。



▲相当数の生徒がこの京成検見川駅から学校に向かった。4分以内の通学者は徒歩で通学することになっていた。



譲として売却したと思う。その際、北村校長の卓見で校地の西側境界と校地の西側道路の間に約3千坪が住宅予定地になっていたの、学校の環境上、また管理上の点から良くないと考え、千葉県教育委員会から約10万円だったと思うが、10年年賦で借り入れて購入し、後援会財産として校地に繰り入れた。

これが現在の(財)千工会所有の土地である。この土地の購入代金も昭和24年に完済している。

当時の区画整理の責任者であった鈴木善右衛門氏もこの土地の購入にあたっては、坪3円5銭にして戴くなど大変お世話になったが、もう故人であろう。

## ○検見川校舎の戦災から 津田沼へ移転するまで

昭和20(1945)年7月6日の夜半から7日未明にかけて千葉市街が空襲にあったが、検見川にあった千葉工業学校も戦災にあって4分の3を消失してしまった。



▲井泉寮：学校の入口の直ぐ左手にあり、  
独身の先生方の住まいともなっていた。

私は当時兵隊にとられていたが、何かの縁か偶然かわからないが、7月6日に当時検見川校舎の脇の敷地にあった「井泉寮」(せいせんりょう)に疎開していた家族の所へ来て泊まっていたので、校舎が戦災にあったのを目撃している。兵隊での勤務地は内地であったので、終戦になってすぐの9月には復員できた。早速学校に行ってみたが、学校の施設は全部なくなっていた。まず生徒が勉強するところを探さなければならぬと、当時の校長・北村先生と話し、私は教諭と事務長兼務で早速候補地を探し始めた。

ご存知のように千葉市周辺は軍隊の施設が多かったので、戦災にあった各学校や会社は、よりどりみどりにその施設を見て歩いた。いろいろ探した末に下志津原(千葉市若葉区若松町)にあった飛行隊跡(現在の下志津自衛隊)が施設も備品も揃っていて、学校として最適な条件であり、県も是非千葉工業に払い下げをしてほしいとお願いした。

大体そこに決まりそうだったので、当時の生徒全員を連れて見学に行ったが、今と違い交通手段がないため、全員が徒歩で行ったものである。ところが一週間近く過ぎた頃、その施設は米軍が進駐するので払い下げはしないと県から通知があり、一同は移転できなくなり非常にがっかりした。ただ、そこにあった航空関係の

備品で工業高校の授業に使えるような物を相当数戴いたことは、その後の勉強に役立ったと思っている。

千葉市内を希望していたが、时期的なこともあって北村校長と相談し、最終的に津田沼駅に近い鉄道連隊の施設を視察に行った。鉄道連隊の施設は、津田沼駅の南側に内務班の兵舎があり、施設面積は広く建物も良い材料でできていたが、表から見ると違い建物の内部は内務班用としてできていたのか部屋の間仕切りが小さく、12~3人が入れる程度しかなく、生徒に勉強を教える教室にすぐ改造することはできないと判断した(現在は千葉工業大学になっている)。

津田沼駅の北側は鉄道連隊の材料廠であり、倉庫棟は工業学校の実習室には天井も高いし、授業のための教室の間仕切りも比較的簡単に出来そうだと判断して、北村校長と相談の上ここを千葉工業学校の移転先に決定した。鉄道連隊の留守部隊を預かっていた方々(久々田におられた永瀬さんや、当時新京成電鉄(株)におられた広瀬さん等)には大変お世話になったことを忘れることはできない。



昭和20年7月7日の空襲で校舎を失ったから、  
稲毛の日本ハルプ工場で授業が行われたが、  
昭和21年1月に元鉄道第一連隊材料廠倉庫跡  
に移転。  
23年4月には千葉工業高等学校と改称した。



▶ 日連隊の建物  
(レンガづくり)  
が化学科実験室  
になった。

鉄道連隊の材料廠は、周りに線路が縦横に走っており、校庭にしたところも線路を撤去したものの砂利が多く、運動場にするために当時の先生や生徒に大変苦勞をかけた。

材料廠の倉庫内には火薬や軍隊で使用する材料が入っていたが、火薬は習志野演習場まで運び爆発してもらったり、不要な材料は線路の南側にある敷地に大きな穴を掘ってもらい、その中に生徒の協力で捨ててしまった。学校の周りの線路は一部大榮車両が所有していたが、大部分は京成電鉄(株)が払い下げてもらったのか、所有していた。

昭和20(1945)年12月ごろに倉庫の間仕切りをして窓を取り付けたりして教室に改装したが、その費用は加藤製作所から当時の金で2万円を寄付して戴いたものを活用した。

戦後しばらくは授業をするところがなくて、稲毛にあった日本パルプの青年学校をお借りして二部授業などをしていましたが、昭和21(1946)年1月24日に津田沼へ移転し、これでようやく学校らしくなった訳で、いくらかホッとしたものである。

## ○津田沼校歌について

創立50周年史の校歌変遷(198頁)を見ると、津田沼校歌は昭和29(1954)年～昭和43(1968)年となっているが、同窓会会員名簿の沿革の概要には昭和24(1949)年10月21日に津田沼校歌制定となっている。

第二校歌 津田沼校歌

千葉県立千葉工業高等学校校歌

作詞 松村 又一

作曲 細川 潤一

1. 紅燃ゆる久々田の海に  
匂うは夕風我等が希望  
見よ見よこの海この青空を  
学びの業こそ果てなく広し  
いざいざ究めむ吾人我等  
千葉工業千葉工業我等我等
2. 文化の華も祖国の富も  
つくるは我等ぞその責重し  
見よ見よこの誇り燃えて  
日ざすは栄ある工業国家  
いざいざ究めむ吾人我等  
千葉工業千葉工業我等我等
3. 学びの庭に意気奮闘と  
胸を叩きて我等はゆかむ  
見よ見よはるかに輝く富士を  
これこそ我等が理想の空  
いざいざ究めむ吾人我等



私の記憶では昭和23(1948)年ころ教頭をしており、初代 同窓会長になられた安藤四郎さんの義兄の細川潤一さん宅に伺い、校歌の作曲をお願いした。

また、細川さんの紹介で村松又一さんに作詩して戴いた。作詩者の村松さんと作曲者の細川さんが一、二度津田沼校舎を訪れ、「紅燃ゆる久々田の海に…」が完成した。

それから判断しても昭和24(1949)年ころに津田沼校歌はあったと思う。

## ○千葉市への移転計画について

昭和35(1960)年4月に十年ぶりに市川工業高校から千葉工業高校へ、第5代校長として着任した私は、検見川から津田沼へ移った際に北村校長(昭和28年3月退任)が言っていた「落ち着いたら千葉市に戻ろう」という言葉が印象的だったが、その機会も心ならず、22年の永い間津田沼にいた訳である。

当時の千葉県教育長も千葉県の工業学校の代表である千葉工業高校の校舎(特に実習室)がひどいので何とかしなくてはならないと言っていた。

津田沼校舎の土地は結構広いので、その場所で実習室を含めて校舎を建て替えることができれば良かったが、県の財政も許さないとのことであった。

津田沼の校地(1万7千坪)の一部を売却する方法も考えたが、周りが線路で囲まれていたため無理があった。そこで全面的に移転して一気に解決した方が良いとの結論になった。

千葉工業高校の全面移転の話は県の教育関係で聞い

たのか、佐倉市や船橋市からも「移転先を引き受けたい」との話もあったが、千葉市へという希望が強かった。

北村元校長の意思を継いで、とにかく千葉工業高校は千葉市へ行くべきだと私は思った。本来なれば職員や生徒代表を含めた移転検討委員会を作るべきかも知れないが、私は現在津田沼駅から5分程度というところにある学校をどのような所へ行っても不満が出るだろうと判断して、当時の山下教育長と二人だけで進めることとした。

まず千葉市への考えに立って、現在の職員や生徒(特に定時制)の通勤通学の便を考えて、津田沼一幕張間の畑地に求めた。京成電鉄(株)の不動産部長(小山氏)等に相談して、この方面の土地の買収計画をたて、かなり纏まりかけたが、校地として1万5千坪の土地を纏めることは至難の業であり断念した。

たまたま千葉市が東部に教育施設が無いので、県の開発公社に依頼して、学校用地として生実に1万5千坪(49,500㎡)の土地を所有していた。

早速県の教育委員会、萱野財務課長と私とで生実の現地を視察に行った。

生実台に立つと、当時はあまり建物もなかったのも、川鉄、東電初め京葉工業地帯を眼下に見下ろし、遠くに富士の嶺を仰ぐ小高い土地で、環境は悪くない。

しかし難点もあった。一つは6万6千ボルトの高圧線がその台地を斜めに横切っていること、二つは津田沼校舎から比較して最寄駅(JR蘇我駅)からの距離が遠いこと、三つに津田沼校舎に通学している現在の職員、生徒にとっては不便を忍んでもらわねばならないこと等である。

迷ったがこれだけまとまっている土地を将来千葉市の中心地近くに得ることは難しい。難点はあるが止むを得ない。「萱野さん、ここに決めましょう」と私としての意見を述べた。萱野氏も同意してくれて、市との交渉に入った。これで全面移転の第一歩は踏み出された。

昭和39年10月1日、生実台に校地決定。千葉市今井町1478番地、55,851㎡。決定はされたが、これから具体化するまでは容易ではなかった。



▲木造2階建ての校舎が29年～31年にかけて建設され、22年間の津田沼時代の実用期に入った。

本稿は平成8年6月1日付で千葉工業同窓会が、「千葉県立千葉工業高等学校 創立60周年記念誌」として発行した冊子の中の、第5代校長の景山徳二先生の論文『千葉工業の歴史を語る』を転載致しました。

続きは同窓会報 第29号に掲載します

## 平成28年度に新設された『理数工学科』の出前授業を開始

### ◆演題 [私の進路と千葉工業について]

藤井 孝 (42M)



**観点** 先ず「生きて行く」と言う事を考えるとき、自分の生い立ちを振り返って考えると見えて来るのではないのでしょうか。

生徒に自分の生まれ育った、銚子の環境と時代の背景を話し、この時期に何が必要なかを考えさせる。

入学前、入学後、漁業の町で育ちそこで生活するには何が適しているか。当時、銚子はヤマサ、ヒゲタ醤油が会社勤めの最も良い生活スタイルでした。安定した給料を得る一番の方法でした。

中学に入学と同時に経済発展もあり、オリンピックに関わる産業発展がめざましく、その中で私は銚子から船橋に転居しました。父親の薦めもあり工業学校の選択を余儀なくされました。商業学校から工業学校に進路先が変更になり、学習の方法も多少変わりが大変だった事を思い出しました。

中学に入るとおぼろげながら仕事、つまり、生活の手段として進路を考える様になった気がします。また学

科についても、まだはっきりしないが想像はしたものだ。大切なことは目の前にある事については、真摯に受け止め行動する事。私達の時代は大勢の人達が競争しつつ、前へ前へとやってくる。何事にも食らいついて行く。そんな力強い精神で突き進んで来た。学校の機械実習を通して工業の面白さを知り、さらに工業の発展に興味を持ち進学への道を選んで行った。

#### 生徒に質問

- (1) 千葉工業高校、理数工学科を受験したきっかけは？  
ほとんどの生徒は工業に興味を持ち工業系の大学に進学を希望している。
  - (2) 小学校の頃を振り返って当時進路についてどう思っていたか？  
高校迄は当たり前に行くものだと思っていたので特に深く考えた事はない。
  - (3) 中学生になってどの様な進路を考えたか？  
工業に興味を持ち工業大学に進みたい。とりあえず工業に進みたい。
- この話が終わって、今の進路については時間の関係もあり書いてもらう余裕がなかった。

**感想** 授業を聞く姿勢、態度は熱心で好感が持てた、やはり理数工学科を選んで、受験したという事が伝わって来ました。

### ◆理数工学科の授業科目「産業工学研究」を担当して 大野 清伍 (28M)



筆者は母校から依頼を受け、理数工学科の授業科目「産業工学研究」の一環として、平成28年11月19日に「私の進路と千葉工業について」という題名で講演した。この学科は工業の基礎を学びつつ理工系大学への進学を目標にしているので、ここに力点を置き、筆者の学生時代および社会人としての経験を踏まえて、概略次のような内容について説明した。

生徒諸君は、(1)大学へ進学しそこで身につけるべき

スキル、および(2)将来就きたい職業を想定して、すなわち明確な目標をもって勉学にいそしんでほしい。

Education(教育)はEduce(能力を引き出す)に由来する言葉である。これから様々な方法で指導を受けると思われるが、最終目標は各人の能力を引き出すことであるから、教わる側もこれに応えるよう「能動的な勉学」を心がけてほしい。

数学は一つ一つ階段を昇る感じで進歩する。この階段を昇るためには集中力が肝要で「よく考えて理解する」ことが大切である。また、数学は自然科学を記述する“言葉”であるから、他の理系科目(特に物理)と連携を保ちながら勉学することが効果的である。

語学(英語)は漸進的に進歩する代表的な科目であり、計画をたてて地道に努力する。

生徒からの質問は1件のみであった。これは反省すべき点で、講演のスタイルを工夫する必要があるであろう。



## 平成 28 年 在校生 関東・全国大会出場の大会成績

部・参加者	月 日	関東・全国大会名	大会成績
体操部	28.6.4, 5	関東大会	団体出場(4年連続)
旋盤競技同好会 電気科3年・清水 奎	28.9.11	高校生ものづくりコンテスト関東大会(旋盤作業部門)	準優勝
自動車部	28.10.1, 2	ホンダエコマイレージチャレンジ2016 第36回全国大会	公式記録902.285km/1リットル 高校生クラス 21位/124チーム中
電気科3年・斎藤平也	28.11.25	第2回電気工事技能競技全国大会	最優秀賞(文部科学大臣賞)

千葉工業同窓会は、在校生の関東・全国大会出場に対し祝金を差し上げています。

### 電気科3年・斎藤さん 全国大会で最優秀賞 友と磨いた電気工事の腕



電気工事技能競技全国大会で最優秀賞に輝いた斎藤平也さん(中央)と同級生の楠瀬智也さん(右)、OBの伊藤秀治さん=千葉市中央区

昨年11月に東京・両国国技館であった第2回電気工事技能競技全国大会で、県立千葉工業高校(千葉市中央区)3年の斎藤平也(としや)さん(18)が、新設された高校生の部で最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞した。支えてくれた親友や先輩との三人四脚で「初代チャンピオン」の榮譽をつかんだ。

#### 夏休み、級友と苦手作業特訓

全国大会は全日本電気工業工業組合連合会が主催し、2年に1回開催。第2回は昨年11月25日に開かれた。配管や配線の正確性、安全性を競うもので、全国の優秀な技術員が参加する一般の部のほか、今回から女性と高校生の部がそれぞれ新設された。

斎藤さんは夏の関東大会で上位に入り、全国9ブロックのうち関東ブロックの代表に選出。連合会による書類審査で全国大会に出場する5人に残った。

幼い頃からものづくりが大好きで、家の庭の木でプランコを手作りしてくれた祖父を尊敬。小中学校では図工や技術の授業に熱心に取り組んだ。高校進学後、管を曲げる作業が苦手だったが、2年の時に第二種電気工事士の国家資格に合格し、練習にのめり込んだ。昨年の夏休みはプールや海水浴を楽しむ友人たちを横目に、

学校に毎日通い、大会で出題されそうな仕様書への対応に取り組んだ。

午前9時から午後6時まで校舎にこもる毎日。「一人では夏休みに学校に通い続けられなかった」。斎藤さんはそう振り返る。

学校での練習に連日付き合ってくれたのは、親友で同じ電気科3年の楠瀬哲也さん(17)だ。指定された通りに管を曲げるのが得意な楠瀬さんは、力を入れ方を斎藤さんに助言。2~4時間かけて完成させる課題は作品を解体するのも時間と手間がかかるが、これも楠瀬さんが引き受けた。

また、同校OBで電気工事業「寒川電業」(千葉市中央区)を営む伊藤秀治さん(69)も昨年10月下旬から、仕事を早めに切り上げて母校に通った。全国大会で審査対象となる指差し確認などの作業時の安全点検や、服装などについて斎藤さんを指導した。伊藤さんは「素直だから吸収が早かった」と話す。

一般、女性、高校生の各部を通じて県内からの出場者は斎藤さん1人で、県電気工事工業組合理事長の嶋野貞雄さん(64)は「誇りに思う」。組合は後継者育成のため県内の工業高校で出前授業を続けており、「斎藤君の全国一は、これからの若者の見本になる」と期待する。

斎藤さんは全国大会の表彰式で「学校の先生や友人、先輩ら、周囲のみなさんのサポートのおかげです」と語った。(木村浩之)

2017年1月12日朝日新聞千葉版より

全国大会で配管などの課題に挑戦する斎藤平也さん  
=2016年11月25日、両国国技館、森山武夫教諭提供





## 東京創研を設立、東武ワールドスクエアをはじめ テーマパークを手掛けた男 川島 和人君(34M)を偲ぶ

宇野 昭房 (34M)



昭和34年機械科卒業後、東宝映像美術に入社、東宝の舞台製作に携わるが、テレビジョン放送も軌道に乗り始めた時期でもあった。

営業も押され気味にありプロデューサーの名刺を持って営業する毎日が続く。そんなある日「テーマパーク秘宝館」を提案する。企業で箱物として収益を上げるには良い方法ではないかと、しかし、当時東宝では？お蔵入りとなってしまった。

昭和52年(1977年)自立し東京創研を設立した。テーマパークと進化させた「秘宝館」を営業開拓・アイデアを自ら製作したイラストを持って企業が運営するテーマパークを目指した。

別府秘宝館の改修工事を皮切りに、北陸秘宝館(等身大の動く蠟人形=サイボットと命名、ホログラム、ウォーターマジックなど、当時の最先端技術を採用)、東北秘宝館極楽殿、北海道秘宝館、熱海秘宝館、嬉野武雄観光秘宝館(建設費7億円)と建設していった。

別府秘宝館の改修工事を皮切りに、北陸秘宝館(等身大の動く蠟人形=サイボットと命名、ホログラム、ウォーターマジックなど、当時の最先端技術を採用)、東北秘宝館極楽殿、北海道秘宝館、熱海秘宝館、嬉野武雄観光秘宝館(建設費7億円)と建設していった。

第一作である北陸秘宝館では、サイボットがお客様を迎え、古来の宗教的な田の神や道祖神を配置し、より緊張感を高めその後気が緩んで娯楽の世界に入って行き易いのではないかと。誤(みそぎ)みたいなものと考えた。川島流哲学である。

そして評判を呼び蠟人形のオッパイを食いちぎられる事件が発生したこともあった。多い時は2000人/日の来場者もあったという。

一年間の統計を執ると女性が52%だったという。当時電化製品の普及、主婦に余暇の時間が発生、女性の職場進出

と団体・慰安旅行が盛んになり、加えて観光地ではスナックや、ストリップと男性が主体。そこで女性陣が楽しめるよう、SM的なものはやめ、思わず笑ってしまうような展示にした秘宝館となった。

昭和58年(1983年)以降新規建設は無い。この東京ディズニーランドが開園、その数年後には「総合保養地整備法」(通称リゾート法)が制定され、全国にテーマパークが作られた。さらに団体行動・旅行の減少、観光地の衰退が秘宝館の衰退に拍車をかけ、全国で20ヵ所を数えた秘宝館も現在は熱海秘宝館のみとなっている。



その後、東武鉄道95周年記念として東武ワールドスクエアが平成5年(1993年)日光市鬼怒川温泉に開園、設計と企画は東京創研が担当し、施工は東武建設が行った。人形約10万団体については同級生の坂井君にも応援要請があったという。

そんな機械屋の風変わりな異端児(?)も病を得て平成28年6月12日、べか船で三途の川を渡ってしまった。

瞑目

脱稿にあたって坂井 元昭氏に多大な資料提供を頂き感謝します。

◎参考出典:ウィキペディア、フジテレビ映像

## 「あれから70年。そして80歳にして」

嶋村 英男 (30E)



昭和20年7月7日、千葉市にB29による空襲があり、千葉の市街地は殆ど焼かれてしまいました。あれから70年になりました。私は千葉の富士見小学校の4年生、10歳で祖母と二人暮らしでした。千葉市富士見町206番地の一戸建ての平屋でした。

空襲が激しくなると、国・市の方針とやらで空襲にやられそうな所はブルトナーで家が壊されました。隣の桑田宅と嶋村宅が壊されました。桑田宅と私の家の中間に、防空壕を作り、空襲警報が鳴るとここに入ったものです。

祖母と後日行くと、桑田宅と我が家の間に爆弾が落とされ、大きな穴が開いていました。もし此処に居たら、

私と祖母の命はなかったでしょう。これを見て祖母は胸をなでおろしていました。

祖母と私は、富士見の隣、栄町の2階の一部屋を借りての生活でした。

7月7日夜の空襲で、祖母は瀬戸物を井戸の中に入れ、衣類などを大きな風呂敷に入れ背負い、私はランドセルに教科書等を満タンに入れ、防空頭巾を被り、足にゲートルを巻いて家を出ました。

祖母は皆の後に、私は祖母の後に付いて行きました。

寒川の方面と登戸方面と二つに別れたようで私達二人は登戸の方に逃げました。後で聞いた話ですが、寒川の方に逃げた人達は機銃掃射とやらで大半の人達が亡くなったと聞かされました。もし祖母が寒川の人達に付いて行っ

ていたら、私と祖母はこの世にいなかったと思うと、ぞっとしました。幸い登戸の方に逃げたので、今があります。

空襲が終り少し明るくなった時、私の片足のゲートルが無いのに気がつきました。ゲートルが取れる瞬間には2メートルぐらい引きずっていたはずですが、それに気づかずに無我夢中で逃げていたのですね。

来た道を逆に間借りの家に向かいましたが、市街地は全部焼けて影も形もありませんでした。ただ井戸があったので場所だけは確認できました。

富士見小学校は現在、東京電力の千葉支店になっています。この前が現在は三越で、角に時田ミシンがあります。空襲の時、ここだけは奇跡的に三軒は焼けずに残りました。三軒の内の一軒が根本さんです。根本さんは以前、銚子で国鉄に勤めていました。祖母の主人と一緒に働いていたことがあったと云うことで、祖母と二人である期間お世話になりました。白いおむすびと沢庵が旨かった事を覚えてい

ます。その場所がその後、「そごう」になり、現在は三越になっています。

80歳にして何か「思い出になる事」をしてみたいと思い、いろいろありましたが、根本さんの跡地の「そごう」ができました。その「そごう」10階の食堂、22軒をパンフレットの順番に、「食べ尽くすこと」にしました。平成27年10月から、月に3回のペースで、一人が基本でしたが、時には妻とまた友人と、4月に22軒全ての食堂の「食べ尽くし」が終わりました。(14万円)

今、私は以前に勤めていた、西千葉の駐輪場でまた働いています。3日働いて、2日は休みのペースです。3日目が終わったら、ご苦労様でしたとして、「そごう」で「食べ尽くし」をしました。

結婚して53年、80歳にして、働きながら、人生「日々楽しく」、365日、毎晩晩酌(今はビール)を楽しんで過ごしています。

## 千葉工業時代の思い出

中村 軍治 (32M)



私が千葉工業高校へ入学したのは終戦後9年目でした。校門を入ると鉄道の線路があったり、貨車が並んでいたり、日本瓦の平屋倉庫の様で、とても校舎とは思えない学校であった。でも教育レベルは高そう、同級生が教壇に立って黒板に方程式をスラスラ解いて行くのを見て、田舎中学出の私がついて行けるか、不安に思った。

一番の楽しみにしていたのは機械実習で、鉄板を切ってシャベルを作ったことであった。手工具で切断し、ヤスリを掛け、曲げ、下塗り、仕上げ等、実習の時間が待ち遠しいくらいだった。(後に板金工場を任された時に役立った)でも鑄造作業は直ぐに崩れ、中々鑄型が出来ず、俺に向いていないと悲観した。旋盤作業では、センターが合わず、バイトの上に丸棒が乗ってしまい、削れるどころでは無かった。本教科より専門科目に興味があり、これで点数を稼いだ様であった。なにしろ殆ど復習をしていなかったし、試験の時は、一夜漬けの丸暗記であったから、科目が変更されたときはパニックになっていただろう。数学も暗記だったので、答えが合っているにもかかわらず途中が間違っていたこともあったが、不思議と山勘が当たる事が多かった。

自動車部は「いすゞ」の六輪トラックを運転したが、ハン

ドルは重く何回も回さなければ曲がれず、変速のダブルクラッチも、身体が小さいので、座席の後ろに鞆を挟み、姿勢を整えながらだから大変であった。

卒業後就職した会社は、学校へも機械設備を納めていた工作機メーカーであった。初めの頃の現場作業では、換歯車の計算に対数を使っていた、かけ算がプラスに、わり算がマイナスで計算出来、対数表から近似の整数に変換する方法であった。当時は、計算機も手でハンドルをガラガラ回す器械で、ルートを開くのは大変であった。仕事の性質上三角関数も良く使った。これも最初は対数で計算したが、電卓が出来てからは格段のスピードが上った。

社会生活で直面する課題や、人間関係では、漢文の「虎穴に入らざれば虎児を得ず」や「四面楚歌」の意味を実感したり、機械の取り扱い説明書の翻訳、治具工具の設計製図等に、学校教育が大いに役に立った。

よく、千工の生徒が工場見学に来て、学校の勉強が社会でどれ程役立つのだろうかと質問されたが、私の場合100%役に立ったと言える。会社での生活40数年、たかが3年の高校時代を懐かしく思うのは何故なのか、同窓会の原点がこの中に存在するのだと思うのである。



## 入学式



4月7日、平成28年度入学式が行われました。今年度から新たに理数工学科が加わり、7クラス280名の生徒が入学しました。

## 文化祭（千工祭）



10月29日、文化祭(千工祭)の一般公開が行われました。今年度は各クラス、部活動の活躍によって例年よりも盛り上がり、たくさんの方々が来校されました。同窓会・(一財)千工会の展示発表も行われました。また工業化学科では、教室全体を周期表に見立てて、実際に元素単体を展示しました。

## 東勢高級工業職業学校（台湾）来校



5月17日、台湾より東勢高級工業職業学校の生徒20名、引率職員2名が来校しました。本校の情報技術科の3年生12名、2年生8名が東勢高級工業職業学校の学生とペアになり、電子回路工作(オルゴール製作)を行いました。また、茶道体験や吹奏楽部による演奏、記念品の交換なども行いました。

## 芸術鑑賞会



11月16日、青葉の森公園芸術文化ホールにて、3年に1度の芸術鑑賞会があり、今回は千葉交響楽団による演奏が行われました。「威風堂々」や「木星」から、有名映画のメドレーなど、生徒たちに馴染みのある曲を演奏していただきました。

## 学校説明会・見学会



8月19、20日の2日間、中学生にむけての学校説明会・見学会が行われました。2日間で約860人の生徒と保護者が見学に来ました。それぞれの学科では本校の生徒が、部活や授業で行っている作業の実演・説明をしてくれました。

## 80周年記念式典



11月26日、創立80周年記念式典および記念講演が行われました。記念講演では講師として段木正視先生が「千葉工業と共に」という題目で講演をしてくださいました。午後からは吹奏楽部の記念コンサートなどの発表会が行われました。

## 総合技術コンクール



11月19日、東総工業高校で千葉県の工業高校生による第33回総合技術コンクールが行われ、8部門中、3部門で知事賞を獲得しました。

- ・化学分析部門（全）工業化学科2年  
山川 まいあ さん
- ・機械設計製図部門（全）電子機械科2年  
富澤 文香 さん
- ・計算技術部門（全）電気科2年  
武部 麗菜 さん

また、化学分析部門、計算技術部門、ライントレースカー部門においては、教育長賞を獲得しました。

## 台湾国際交流事業



12月14～17日まで生徒8名、引率職員3名が5月に来校した台湾の東勢高級工業職業学校を訪問しました。同時に姉妹校協定を結びました。また現地では大歓迎で迎えられ、交流会などを行いました。

## 避難訓練



12月19日、本校の生徒が、地域の方々や保育園の園児たちと合同で避難訓練を行いました。避難訓練の後は炊き出し訓練を行いました。

## 課題研究発表会



1月20日、課題研究発表会が行われました。3年生が1年間かけて行ってきた課題研究の成果を、ポスターセッション形式にして、発表を行いました。1、2年生や企業の方々に見ていただき、3年生は緊張しながらも、とてもいい発表をしていました。

## SE科産業工学研究



今年度より新設された理数工学科。月に1回、SE科産業工学研究として、講師を招いての授業や、普段の授業よりも発展した授業を行っています。今年度はOBの方のお話や進路相談、セグウェイの乗車体験など様々な体験をしました。

## 電気工事技能競技全国大会



11月25日、電気工事技能競技全国大会が東京・両国国技館で開催されました。技能競技は、選手が課題に基づき、競技パネルに作品を制限時間内に完成させるもの。

代表として出場していた、電気科3年 齋藤平也さんが高校生部において、最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。



## 平成28年度 進路状況 (全日制)

平成28年12月20日現在

### 【企業】

(株)アーステクニカ 赤星工業(株) 旭硝子(株)千葉工場 (株)ADEKA 千葉工場 (株)イトーキ 宇部興産(株)千葉石油化学工場 宇部マテリアルズ(株) AGCエンジニアリング(株) (株)エージービー開発 (株)荏原エリオット (株)荏原製作所 王子コンスターチ(株)千葉工場 (株)沖電気カスタマードテック (株)オチアイ千葉工場 オリエンタル酵母工業(株) (株)関電工 一般財団法人関東電気保安協会 キヤノン(株) 協設電機工業(株) 協同組合千葉施設管理センター 京成電設工業(株) 京成電鉄(株) 京葉シーバス(株) 京葉臨海鉄道(株) KHネオケム(株)千葉工場 小池酸素工業(株) (株)弘電社 合同製鐵(株)船橋製造所 コスモ石油(株) (株)駒井ハルテック 小湊鉄道(株) 沢井製業(株)関東工場 JR東日本メカトロニクス(株) JFE鋼管(株) JFEコンテナ(株)千葉工場 JFEスチール(株)東日本製鉄所 JFEテクノリサーチ(株) JFEケミカル(株)千葉工場 JFE鋼板総合サービス(株) J-オイルミルズ (株)ジャパンディスプレイ ジャパンマリンユナイテッド(株)磯子工場 昭和アステック(株) 白鳥製業(株) 新栄通信(株) 新京成電鉄(株) 新興サービス(株) 新日鐵住金(株)君津製鐵所 住友建機(株) 住友重機工業(株)千葉製造所 住友重機モダン(株) 星光PMC(株) セントラル硝子プラントサービス(株) (株)全日警 全農パールライス(株) 大真建設(株) 大成温調(株) (株)ダイニッセイ 大和千葉製罐(株) タカラスタンダード(株)千葉工場 田辺工業(株)千葉支店 千葉共同サイロ(株) (株)千葉ケイテクノ 千葉製粉(株) 千葉精密プレス(株) 千葉積水工業(株) 千葉都市モノレール(株) チョダウーデ(株) 月島テクノメンテサービス(株) ディップソール(株) (株)電洋社 東海電設(株) 東海旅客鉄道(株)新幹線鉄道事業本部 東京酸素空素(株) 東京地下鉄(株) 東京電力パワーグリッド(株) 東京都市サービス(株) 東芝エレベータ(株)東関東支社 東芝電気サービス(株) 神東塗料(株)千葉事業所 東武エンジニアリング(株) 東邦化学工業(株)千葉工場 東洋佐々木ガラス(株)千葉工場 トーカロ(株) (株)トステック (株)トッパンパッケージングサービス トヨタ自動車(株) ニチハマテックス(株)習志野工場 日揮プラントイノベーション(株) 日産化学工業(株)袖ヶ浦工場 日新工機(株)市川支店 日清製粉(株)千葉工場 日鉄住金鋼板(株)船橋製造所 日鉄住金テックスエンジ(株)君津支店 日鐵住金物流君津(株) 日東エフシー(株)千葉工場 日本スピング(株) 日本通運(株)千葉臨海重機械建設支店 日本メジフィジックス(株)千葉工場 日本リファイン(株)千葉工場 東関東メルテック(株) 東日本旅客鉄道(株) 日立化成(株)五井事業所 (株)日立産機ドライブ・ソリューションズ 日立システムズ・テクノサービス(株) (株)日立ビルシステム東関東支社 日野自動車(株) フィデス(株) 富士ソフト(株) (株)フジクラ佐倉事業所 不二サッシ(株)千葉工場 富士通エフサス・カスタマサービス(株) 富士フィルムRIファーマ(株) 双葉電子工業(株) 古河機械金属(株) 古河樹脂加工(株)千葉工場 フルテック(株) 朋和産業(株) 北越紀州製紙(株)関東工場 (株)ホリキリ マツダ自動車(株) マツダロジスティクス(株) マブチモーター(株) 丸一鋼管(株) 丸善石油化学(株)千葉工場 (株)丸山製作所千葉工場 三島光産(株)鉄鋼君津事業本部 三島光産(株)千葉事業所 ミズホ(株)千葉工場 三井化学(株)市原工場 三井造船千葉機工エンジニアリング(株) 三井造船(株)千葉事業所 (株)ムラオ (株)MORESCO 山田機械工業(株) (株)横河システム建築千葉事業場 吉野石膏(株)千葉第三工場 理研ビタミン(株) (株)ワキタ 海上自衛隊 航空自衛隊 陸上自衛隊

### 【専門学校】

千葉県立市原高等技術専門学校 大原簿記公務員専門学校 神田外語学院 国際理工情報デザイン専門学校 尚美ミュージックカレッジ専門学校 洗足学園音楽大学 千葉県自動車大学校 辻調理師専門学校 東京IT会計専門学校 東京声優アカデミー(TSA) 東京自動車大学校 東京動物専門学校 東放学園専門学校 東洋理容美容専門学校 トヨタ東京自動車大学校 日本自動車大学校 日本電子専門学校 専門学校HAL東京 船橋情報ビジネス専門学校

### 【大学・短大】

国士舘大学 淑徳大学 城西国際大学 大東文化大学 千葉工業大学 千葉大学 千葉職業能力開発短期大学校 中央学院大学 東京工科大学 東京理科大学 日本大学 日本文理大学

## 同窓会員の状況 (平成28年3月31日現在)

科 別	工業学校					工業高校		総 計
	本 科	第二本科	二 部	補習科	併設中	全日制	定時制	
全日制	工業化学科	562	184	88	44	180	4,476	5,534
	機械科	303	175			183	4,316	4,977
	電子機械科						2,289	2,289
	電気科	288	159			182	5,396	6,025
	情報技術科						1,636	1,636
定時制	電気科						1,224	1,224
	機械科						1,441	1,441
合 計	1,153	518	88	44	545	18,113	2,665	23,126

# 千葉工業高等学校 創立80周年記念募金 お礼

創立80周年記念募金委員長 布施 敏雄 (41E)

同窓生・旧職員及び関係者の皆様、母校80周年記念募金に賛同頂きまして厚くお礼申し上げます。

募金合計は目標額300万円を大きく上回り420万円余りとなりました。この募金はすべて創立80周年記念事業に充当させていただきましました。

**募金総額は 428万6882円 (合計863件)**

(但し平成27年12月21日から平成28年11月4日までの募金は212万8499円)

平成27年12月20日までの募金者は会報27号に掲載しております

## 会報28号 寄付者ご芳名名簿

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
16II C	匿名希望	27E	伊橋 潤一	31C	岩井 次	32E	錦織 五雄	35M	染野 弘	37E	小川 誠	40E	小倉 祥宏
16M	野沢 潤	28M	鎌木 勇	31C	市原 正光	32E	町山 勝清	35M	為我井哲夫	37E	新井 昇	40定M	土屋 義造
17C	高橋 弘	28M	石田 政彦	31C	渡辺 一夫	32E	伊勢 匡男	35M	北村 嘉明	37定M	石井秀三郎	41C	高澤 由行
18C	宮崎 恒雄	28M	内田 耕年	31M	伊藤誠之助	32定M	能勢 実	35M	細矢 政臣	38C	高橋 武臣	41M	大土 隆
18M	伊藤 作平	28E	大野 清伍	31M	韋 健二	33C	森 三郎	35M	大野 志郎	38C	古川千枝子	41M	鈴木 和宏
18E	高浜 和夫	28E	今井 栄	31M	高宮 和雄	33C	君塚 義勝	35M	滝口 宏	38C	山中 桂介	41M	田中 良徳
18II E	池田 昌雄	28E	城 茂樹	31M	加藤 東吉	33C	中田 靖治	35M	赤塚 弘夫	38C	宇田 亮	41M	後藤 重雄
19II C	裨田 義明	29C	左氏 靖雄	31M	吉村 昭夫	33C	斉木 信造	35M	井上 賢治	38M	金子 衛	41M	安井 信夫
20C	石井 康雄	29C	清水 徳久	31E	鈴木 健史	33M	大木 公夫	35M	稲葉 貞幸	38M	小安 秀次	41M	吉野 武志
20C	田所 功	29C	遠山 文夫	31E	住田 敏和	33M	小川 定雄	35E	近藤 芳雄	38M	久保田 隆	41E	布施 敏雄
20M	中村 重信	29M	本多 博	31E	堀切 昇一	33M	吉田 稔	35E	尾谷 裕一	38M	半沢 輝之	41E	伊藤 秀治
20M	澤田 忠良	29M	大野 米司	31E	菅澤 幸雄	33M	大塚 崇安	35E	増田 和基	38M	藤代 志志	41E	高山 暁
20E	保科 丞	29M	池永 武昭	31E	小野 清彦	33E	秋葉 栄	35E	中村 正明	38M	木内 澁	41E	井筒 清志
21C	瀧間 英夫	29E	宮間 誠治	31E	花沢 義雄	33E	板倉 正吉	35E	林 克己	38M	副島 恒夫	41E	豊田 三男
21M	山田 泰造	29E	福岡 利夫	31E	永島東洋輝	33E	石橋 邦夫	36C	駒澤 吉郎	38E	板村栄之進	41E	桑田 弘
21M	金子 源司	29E	渡邊 彌彌	31E	藍 勝夫	33定M	相川 武次	36C	安宅哈爾夫	38E	深山 博	41定M	松戸 正光
21M	堤 信一	29E	川名 信司	31E	稲谷 孝	33定E	塩島 孝雄	36C	押尾 尚夫	38E	早邊 利子	42C	宮崎 一雄
21E	萱野 義雄	29E	宗像 保	31E	国吉 裕	34C	小林 迪子	36M	野口 清	38E	香佛 正利	42C	藤岡 義昭
24C	吉田 豊	29E	新田 誠一	31定E	近藤 幸治	34C	小守 正恵	36M	伊藤 満	38E	黒浜 光善	42M	藤井 孝
24M	上野 哲夫	29定E	海保 保	32C	下田 義信	34C	行木 寿次	36M	大野 繁樹	38E	大堀 圭子	42M	望月 千秋
24E	石井 進	30M	刈米 弘	32C	鈴木 敏正	34M	金子 賢二	36M	安藤 久雄	39C	近藤 秀文	42M	小川 和男
25C	川田 武己	30M	栗林 正	32C	金児 宰	34M	斉藤 進	36M	和田 肇	39C	斉藤 勝弘	42M	原 一男
25C	浅尾 昭	30M	福島 進	32C	石毛 義夫	34M	松本 信行	36M	佐久間 昭	39C	岡沢 雅郎	42E	長嶋 孝雄
25E	細川 義信	30M	浜田 秀雄	32C	立田 栄一	34M	吉野 一男	36E	菊 昭彦	39C	野村 秀男	42E	小川富美夫
25E	古川 仁司	30M	竹沢 利夫	32C	宮内 潔	34M	大森 康之	36E	黒川 武夫	39M	長谷川敏一	42E	阿部 明
25E	菅野 昇	30M	佐藤 文俊	32M	長島 正	34M	菰田 達夫	36E	瀬部 正作	39M	栗山 勝男	42E	矢代 正巳
26C	佐川 晋也	30M	伊藤 尚	32M	永井 省三	34M	加瀬 俊雄	36E	藤原 和彦	39M	菅澤 功	42E	中村 実
26C	小柳 宏一	30E	日暮 重信	32M	片岡 貞男	34M	坂井 元昭	36E	高橋 宏	40C	石橋 暁	42E	鈴木 晶蔵
26M	大堀 治宜	30E	黒濱 晃道	32M	波多野 達	34E	京相 延志	36E	溝口 均	40C	立川 嘉宜	42E	高橋 秀典
26E	千脇 傳吾	30E	新行内一男	32M	大木 昌彦	34E	湯浅 祥彦	36E	清宮 照司	40M	高木 靖夫	43M	藤崎 和博
26E	早尾 茂	30E	増田 秀雄	32M	川口 浩史	34E	鈴木 甫	36定E	伊藤 謙	40M	川村 義郎	43M	片山 博一
26E	野本 勇	30E	鶴亀 一郎	32M	桑島 健	34E	前田 柔	37C	石川卯之助	40M	野老 博和	43M	興松 孝夫
27C	植草 光春	30E	下藤 清	32M	遠藤 正春	34E	海保 悟	37C	斎藤 公彦	40M	大井 三吉	43M	江尻 清利
27C	堀井 昭一	30E	塚本 勝久	32M	村山 茂	34E	市東 廣明	37C	森田 尚	40M	安武 正人	43M	小川富美夫
27C	亀山 謙夫	30定E	嶋村 英男	32E	榎山 弘明	34E	桜井 輝重	37M	若月 忠良	40M	永野 務	43M	帆刈 敏男
27C	匿名希望	30定E	石橋 一浩	32E	御園生孝雄	34定M	小野 幸夫	37E	田中 庸夫	40M	並木 治雄	43定M	松戸 操
27M	杉山 猛	31C	関本 正	32E	平野 郁朗	35C	鈴木 正夫	37E	斎藤誠一郎	40E	梨本 晃	44C	戸田 光信
27M	池澤 正雄	31C	志賀 俊夫	32E	伊豆倉 昭	35C	藤島 修	37E	杉原 輝義	40E	山住 安則	44C	二瓶 芳徳
27M	横元 明	31C	増谷 博	32E	匿名希望	35M	岩崎 守男	37E	遠藤 義司	40E	速水 垣	44M	荒井 茂

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
44M	滝内政司	45C	山田 善得	46M	深山 三夫	52M	坂井 時光	58定E	宇山 政嘉	H03IE	高倉 伸夫	H09EM	匿名希望
44E	大海 義夫	45M	高橋 康雄	46M	竹澤 公正	52E	五木田信之	59定E	山岸 龍生	H03EM	溝口 孝博	H10E	阿部 健和
44E	円城寺 久	45M	土橋 俊男	46E	皆森 博信	52IE	内山 直行	62E	岩田 宏	H04E	林 義隆	H11EM	亀山 正貴
44E	塚原 敏夫	45E	上野孝次郎	46定E	土屋 清文	53E	上原 純一	62IE	牧田 浩之	H04E	澤田 唯雄	H14C	石井 貴
44定E	平嶋 健一	45E	後藤 雅夫	47M	下世 孝行	53E	市原 修	63E	森嶋 洋	H05EM	大平 憲秋	H21E	鈴木 智朗
44定E	加沢 森市	45定M	今西 純良	47E	大野 良司	54M	鎌田 晃	63E	長谷川士朗	H06EM	金坂 克己	H23EM	長岐 一輝
44定M	鈴木 健二	46C	吉原 茂	48定E	小駒 富夫	55M	宮原 則之	63IE	匿名希望	H06C	土屋 幹雄	H24E	原川 佑平
44定M	網城 武雄	46C	山倉 訓久	49C	石川 壽志	55定M	高梨 正美	H01E	椎名 康成	H07E	溝下 秀二	H25C	富田 準斗
44定M	島部 孝徳	46C	木村 俊昭	49E	石井 光夫	56E	大岩 一雄	H01定E	鶴木 伸明	H08IE	牧 弥香	H25C	若林 拓己
44定M	守屋 直幸	46M	保坂 信昭	49E	前田 義徳	57C	真下 房雄	H02M	栗崎 彰二	H09E	古山 諭	H27C	若林 晃己
44定M	富田 博	46M	植草 正司	50IE	中村 廣次	57M	石井 龍一	H03C	土屋 規子	H09E	池田 真人	H27IE	神山 威男

旧職員・職員	企 業			そ の 他
・宇佐美敏夫	・関東天然瓦斯開発(株)	・北総電機産業(株)	・黒田精工(株)富津工場	・南総支部
・富澤 浩幸	・深山電気管理事務所	・三井化学茂原分工場	・SU千工会	・外房支部
・齋藤 久子	・丸山製作所千葉工場	・デンカ(株)千葉工場	・庄や 蘇我駅前店	・千葉市支部
・松本 透	・ピナンエンジニアリング	・丸善石化(株)千葉工場	・あきちゃん	・千葉市支部西地区
・須之内義昭	・日野自動車(株)	・宇部興産(株)千葉工場	・(株)相互	・M39B クラス会
・永峯 清秀	・オータキ産業(株)	・(合)長崎電気	・(合)大塚電機	・幸田 郁夫
・段木 正規	・湘南積水工業(株)	・JNC石油化学(株)	・木更津三菱自動車販売(株)	

会報27号の募金芳志者リストに卒年及び氏名に誤りがありましたことをお詫び申し上げます。

(誤) 36M 大野 茂樹 → 36M 大野 繁樹 (正)  
 H21IE 鈴木 智朗 → H21E 鈴木 智朗 外部支部総会 → 外房支部総会 (誤) (正)

## ◆創立80周年記念事業のご報告◆ 80周年実行副委員長 金子 衛(38M)

創立80周年記念事業に当たっては、関係各位から多大なるご寄付を頂戴することができました。衷心から御礼申し上げます。

このご寄付を原資とし、母校へ80周年の記念事業として学校の要望も踏まえ諸施策を講じてまいりました。

以下に実施した記念事業の概要をご報告させていただきます。

### 【実施した記念事業の概要】

- ICT(情報通信技術)活用教育推進のための電子黒板機能内蔵プロジェクター:1~2年、全クラス12台と理数工学科1~3年の3クラス3台の合計15台導入
- 教員用Ipadの購入:定時制教員用として5台購入
- 校歌レリーフ:本館玄関入り口に現校歌の歌詞のレリーフを設置
- 屋上看板設置:本館屋上に学校名を表示した看板を掲示
- 屋外設置用テント:5張購入
- 体育館へのジェットヒーター:1基導入

## ◆編集後記◆

昨年11月26日は母校創立80周年行事が挙行され、無事終えることとなりました。学校での式典・京成ホテルでの祝賀会の模様を掲載しました。

80周年記念誌の編纂途中で、景山元校長先生の創立60周年記念誌「千葉工業の歴史を語る」を見つけ、検見川、津田沼、生実の移転の経緯が詳しく書かれていました。我々卒業生には移転の経緯は知らされていませんでしたので、28号と29号で掲載します。ぜひご期待ください。

編集副委員長の住田敏和氏(31E、外房・東葛)が昨

年3月7日に急逝されました。住田氏は、多方面に亘り類いまれな趣味を持ち助けて頂きました。ご冥福をお祈りいたします。

編集委員は編集委員長:若月忠良(37M、北総・京葉)、編集委員長代行:富田博(44M、東葛)、事務局長:長嶋孝雄(42E、母校職員OB)、編集委員:比連崎正幸(60M、南総)、遠藤清司(41C、北総)、松崎文男(37M、外房)、伊藤洋一(56M特、市原市)、宇野昭房(34M、京葉)、金子賢二(34M、東葛)、藤川幸雄(37E、千葉市)の皆さんです。



## 第32回「同窓祭」開催のご案内

第31回同窓祭は、平成28年6月26日(日)JR蘇我駅に近い「JFEみやざき倶楽部」で開催されました。

第30回より母校の食堂から同会場に変更し、平成29年の同窓祭も「JFEみやざき倶楽部」で、来る平成29年6月25日(日)に開催いたします。

同窓祭の主役は同窓生の皆様です。私ども同窓祭実行委員会は、参加された皆様が「楽しかった。参加して

良かった。」と思って頂けるような同窓祭にしたいと考えております。

懐かしい恩師もお見えになります。同級生はもとよりクラブ活動や通学を共にした仲間をお誘い合わせの上、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、準備の都合上参加希望者は、5月末日までに同封の振込用紙で会費5,000円を振り込んでください。

### 「第32回 千葉工業同窓祭」

- 日時 平成29年6月25日(日)  
11:30～14:00
- 会場 JFEみやざき倶楽部  
千葉市中央区宮崎1-15  
電話043-268-6800
- 会費 5,000円



- 会場までは
  - ・JR蘇我駅より徒歩約15分です。
  - ・京成千原線 千葉寺駅から徒歩約7分です
- ※同窓祭実行委員会では、今年も多く同窓生の参加を望んでおります。

- ・卒業3年以内の方は無料です。参加希望者は、必ず5月末日までに同窓会事務局に連絡してください。
- ・喜寿のお祝いを予定しております。該当者(昭和15年1月1日～昭和15年12月31日生)は、振込用紙の通信欄に生年月日の記入をお忘れなくお願いします。

### 同窓会総会の開催

通常幹事会を開催します。幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)と常任幹事はご参集ください。

- 日時:平成29年5月27日(土) 14:00～16:00
- 会場:千工会館
- 議事:会務報告・会務計画 他

題字 安藤 信吉 (20M)

## 千葉工業同窓会報

第28号

発行日 平成29年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 深山 博

事務局 〒260-0815 千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL043-264-6251 FAX043-268-5524

印刷 株式会社 千都

千葉工業同窓会本部ホームページ <https://chibakogyo-dosokai.jimdo.com>